

## 武蔵野市生きる力を育む幼児教育振興検討会議の設置について

## 1 経緯

- 本市では、平成 24 年度に武蔵野市幼児教育振興研究委員会が設置され、同委員会の報告書（「子どもたちの望ましい発達を保障する幼児期の教育の充実を目指して」）において、幼児期の教育の意義、遊びを通じた学びの重要性、施設・家庭・地域の役割等が示された。
- その後、市立境幼稚園の発展的解消と境こども園（認定こども園）の開設（平成 25 年度）、子ども子育て支援新制度の開始（平成 27 年度）、幼児教育・保育の無償化の開始（令和元年度）など、本市の幼児教育を取り巻く環境が変化中、令和 2 年度からの武蔵野市第六期長期計画、第五次子どもプラン武蔵野において、生きる力を育む幼児教育の振興が今後の取組みとして位置付けられた。
- 平成 30 年 3 月に「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が同時に改訂されたが、各要領、指針の中に「育みたい資質・能力」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について共通の記載がなされている。
- 幼児教育の担い手である、幼稚園、保育所、認定こども園がそれぞれに教育・保育を実施している中、子どもたちの生きる力を育むために、どのように市全体で幼児教育についての共通理解を持ち、実践につなげるか、また小学校教育とのより円滑な接続を行うかが課題となっている。

<参考>

## 【武蔵野市第六期長期計画（令和 2 年度～11 年度）】

## 基本施策 4 子ども「生きる力」を育む

子どもは、様々な環境と関わり、経験を積み重ねることで、身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養われ、「生きる力」を身に付ける。

子どもの多様性を尊重するとともに、子ども自身が遊びや体験を含めた様々な学びにより、自ら課題に気づき他者と協働しながら課題を解決していく力など、新しい時代に必要となる資質・能力や、個に応じた自信と生涯にわたって続く学ぶ意欲を育むよう、多様な施策を推進する。また、子ども一人ひとりの教育的ニーズに対応するため、指導及び相談支援の体制を充実させる。

## (1)生きる力を育む幼児教育の振興

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期である。幼稚園、保育所、認定こども園など幼児教育の担い手は、研修等で互いに連携しつつ、保育者の資質・専門性を向上させ、幼児期の子ども各人の個性に応じた発達を支える取組みを行う。また、幼児教育及び子育て支援事業の向上などのために、私立幼稚園に支援を行う。

## 【第五次子どもプラン武蔵野（令和 2 年度～6 年度）】

## 「生きる力」を育む幼児教育の振興

<現状と課題>

幼児教育の担い手である、幼稚園、保育所、認定こども園は、それぞれに質の高い教育・保育を実施しています。その上で、社会との関わりや体験活動等の「生きる力」を育むことがより一層求められています。

幼児期の子ども各人の個性に応じた発達を支え、幼児期の教育をより充実したものにするためには、幼稚園、保育所、認定こども園の相互理解と連携強化が必要と考えられます。また、学童期への円滑な接続のための仕組みを検討する必要があります。

< 施策の方向性 >

生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期である幼児期に「生きる力」を育むため、幼稚園、保育所、認定こども園など幼児教育の担い手が研修等で互いに連携しつつ、保育者の資質・専門性を向上させ、幼児期の子どもの個性に応じた発達を支える取組みを行います。

## 2 会議の目的

本市の「生きる力」を育む幼児教育に対する考え方、幼稚園、保育園、認定こども園において共通理解を持つための連携の仕組み、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を行うための方法等、本市の幼児教育のあり方について具体的な検討を行う。

## 3 会議の開催方法・回数等

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインにて会議を実施（全 5 回、各回 1 時間 30 分程度）

< スケジュール >

	時期（令和 2～3 年度）	内容
第 1 回	3 月 5 日（金）	会議の進め方の確認、意見交換等
第 2 回	4 月 22 日（木）	現状の分析、検討すべき事項の抽出
第 3 回	5 月 24 日（月）	検討すべき事項に関する議論
第 4 回	7 月 12 日（月）	中間報告書のとりまとめ
行政報告	8 月 18 日（水）	市議会文教委員会にて中間報告書を報告
パブリックコメント	8 月下旬～9 月中旬	中間報告書のパブリックコメントの実施
第 5 回	10 月 4 日（月）	パブリックコメントの確認、最終報告書とりまとめ
最終報告	10 月下旬	最終報告書の公表

## 4 委員 \* 敬称略

- 河邊 貴子（聖心女子大学教育学科教授・武蔵野市子ども協会評議員）  
 今福 理博（武蔵野大学教育学部幼児教育学科講師）  
 加藤 篤彦（武蔵野東第一・第二幼稚園園長・武蔵野市幼稚園連合会会長）  
 平川 恵津子（ふじの実保育園園長）  
 矢野 久美（武蔵野市境こども園園長）  
 村松 良臣（武蔵野市教育部指導課長）  
 勝又 隆二（武蔵野市子ども家庭部長）